

第4期宮城県食育推進プラン目標指標に関する データ集

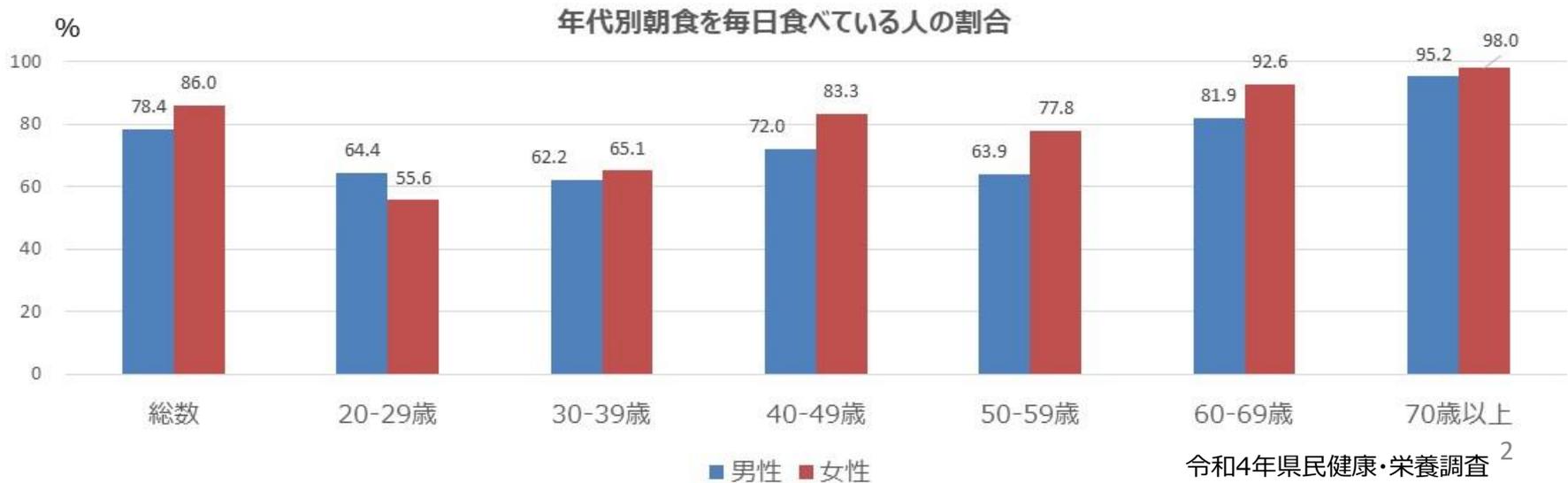
健康推進課

宮城県の朝食摂取の状況

○朝食を毎日食べる人の割合は、小6、中3とも全国値より高い割合で推移している。



○朝食を毎日食べる人の割合は20から30歳代で低く、20歳代女性は約5割しか食べていない。



宮城県の食塩摂取の状況

○宮城県民の一日の食塩摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性11.9g、女性9.4gで全国平均より多く、男性は全国で最も多い。

	男性	女性
宮城県	11.9g（ワースト1位）	9.4g（ワースト13位）
全国	10.8g	9.2g

平成28年国民健康・栄養調査

○令和4年県民健康・栄養調査結果によると食塩の摂取量は年々減少傾向であり、平成22年と比較すると男女とも0.7g減少したが、目標値の成人男性9g以下、成人女性8g以下には達していない。

○50歳から70歳代男性で特に多くなっている。

1日の食塩摂取量（成人）



年代別 1日食塩摂取量



宮城県の野菜摂取の状況

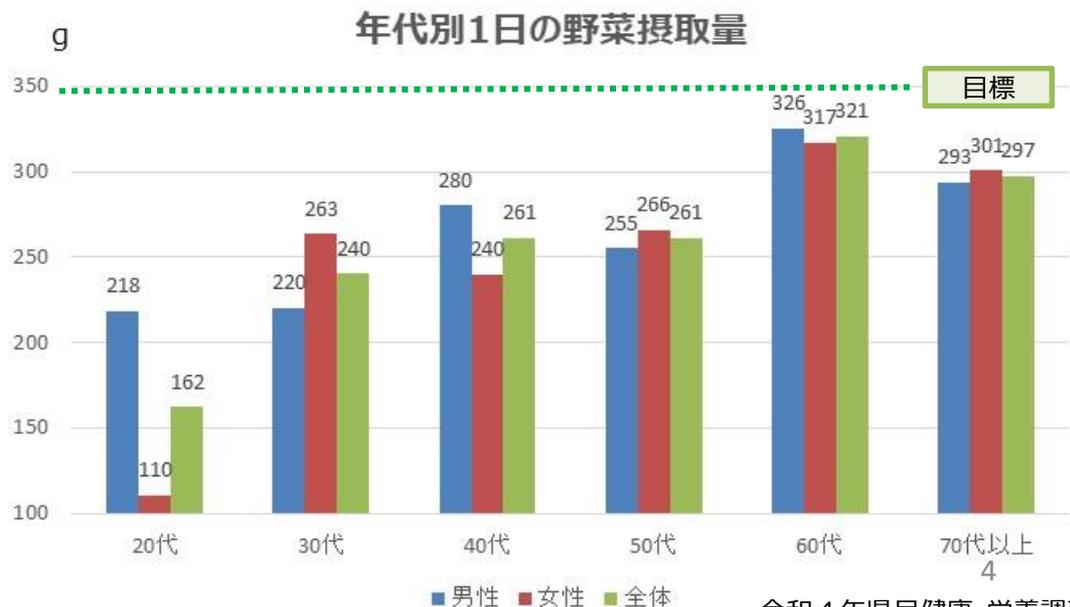
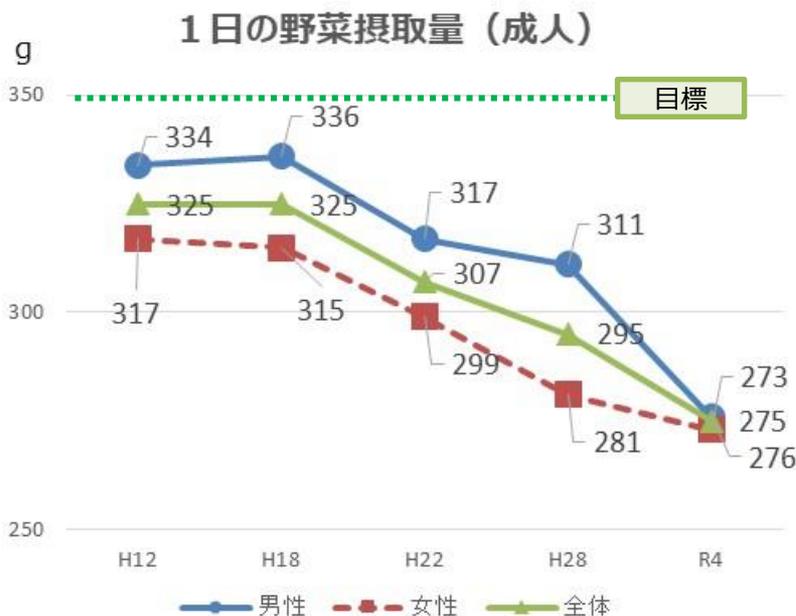
○宮城県民の一日の野菜の摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性332g、女性287gで全国平均より多く、全国10位以内に入っている。

	男性	女性
宮城県	332g (3位)	287g (10位)
全国	284g	270g

平成28年国民健康・栄養調査

○令和4年県民健康・栄養調査結果によると野菜の摂取量は年々減少しており、平成22年と比較する30g減少した。

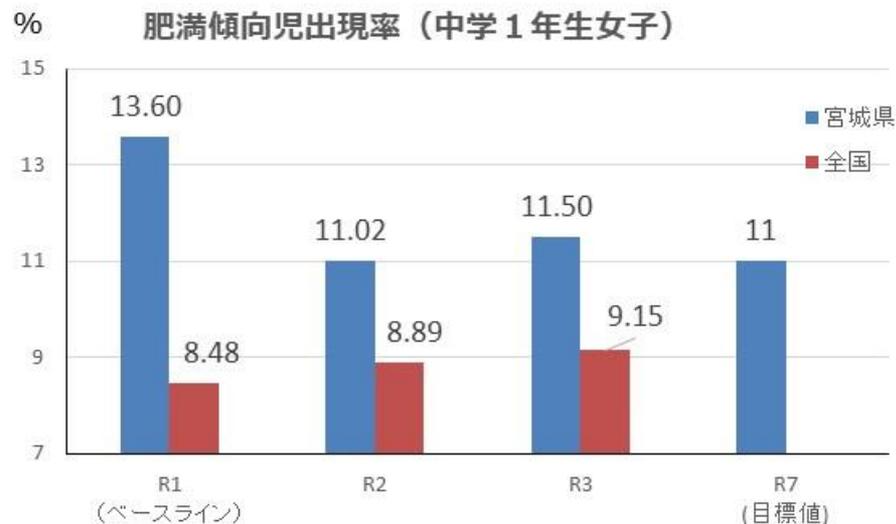
○年代別にみると20～50歳代の摂取量が少なく、目標としている350gに対し約100g不足している。



令和4年県民健康・栄養調査

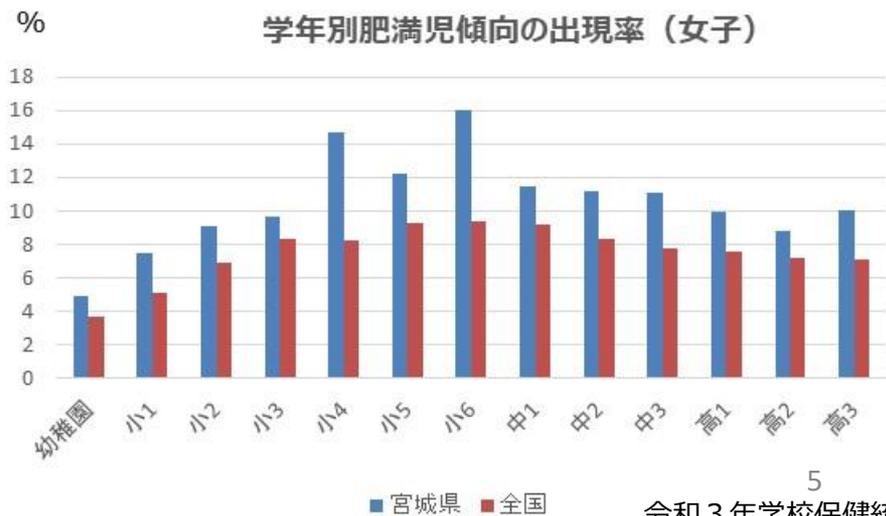
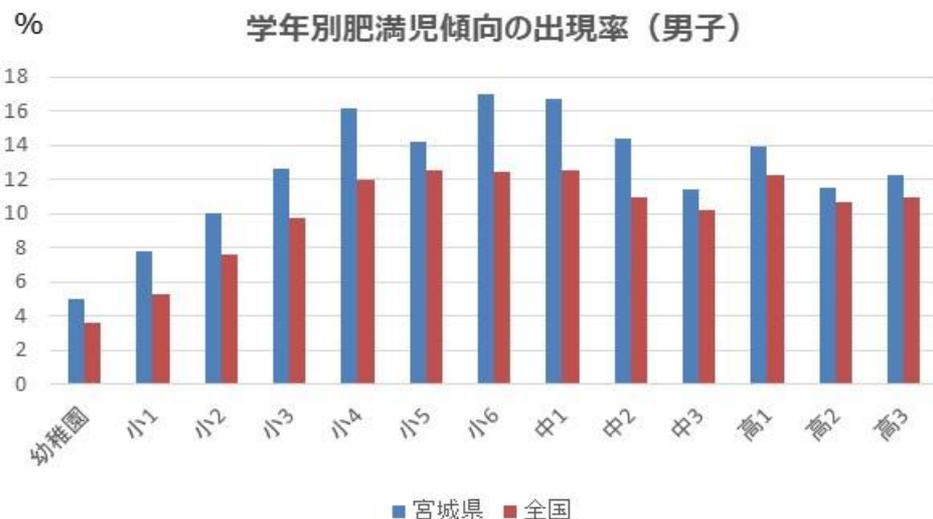
宮城県の子どもの肥満の状況

○中学1年生の肥満傾向児の出現率は、男女とも全国値より高い割合で推移している。
 中学1年生の全国順位は男子3位、女子11位。



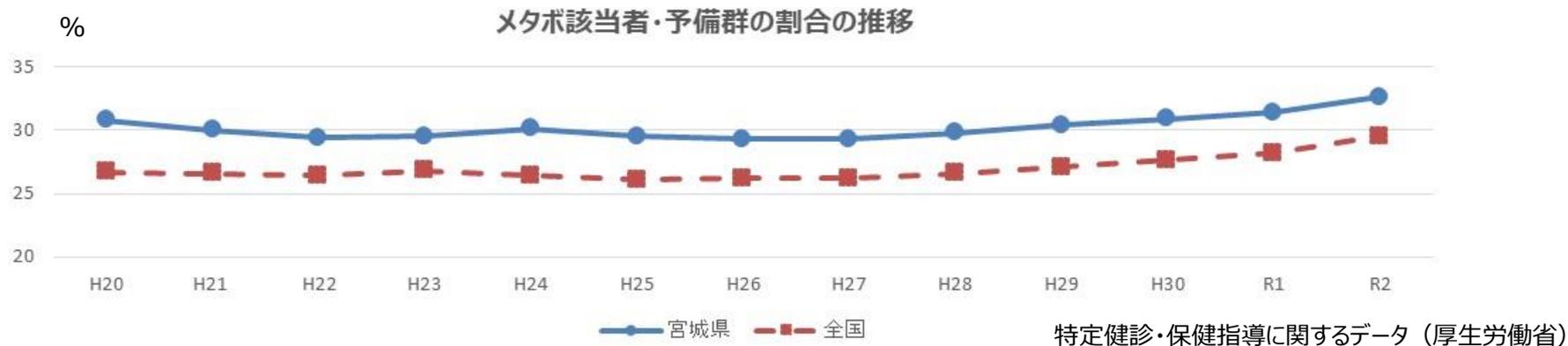
○全ての学年で全国値を上回っている。

学校保健統計

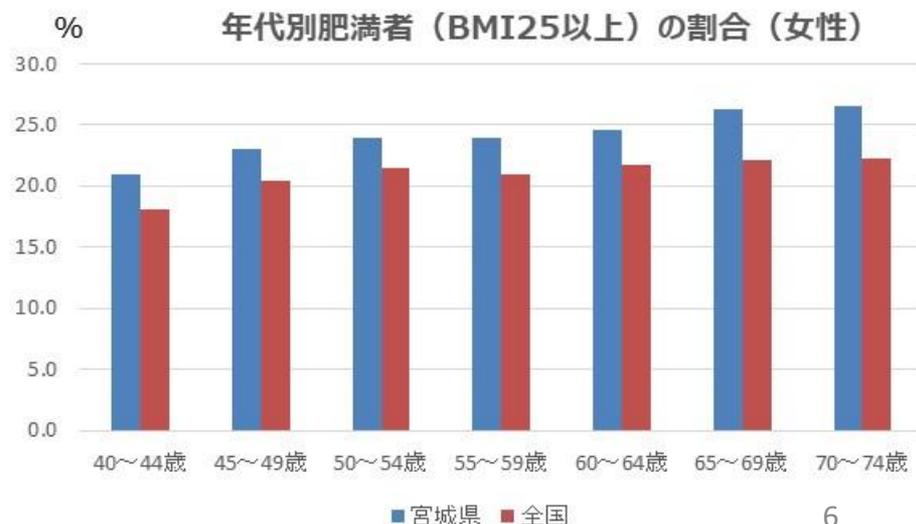
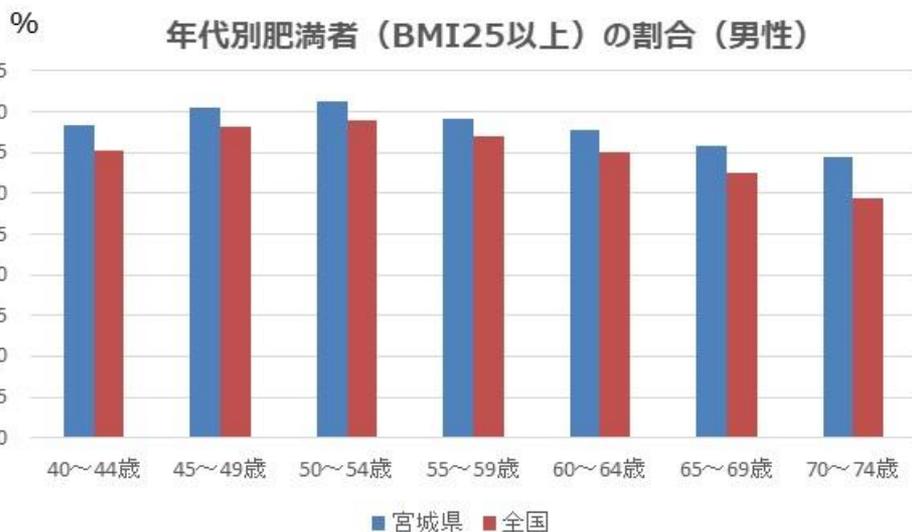


宮城県の特特定健診結果の状況

- メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が全国より高い割合で推移している。13年連続ワースト3位以内。



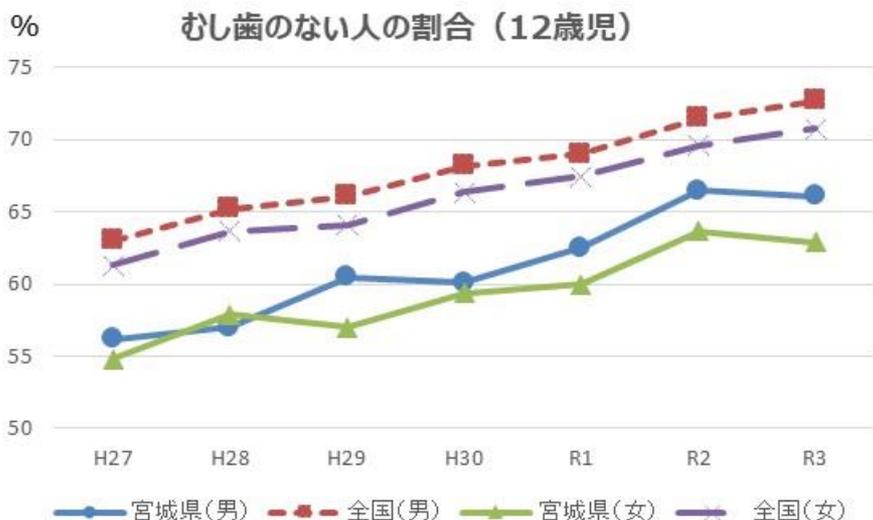
- 成人の肥満者は全ての年代で全国値を上回っている。



宮城県の子どもの歯の状況

○ 12歳児のむし歯のない人の割合は全国値より低く、一人平均むし歯数は全国値を上回っている。

むし歯のない人の割合（12歳児）



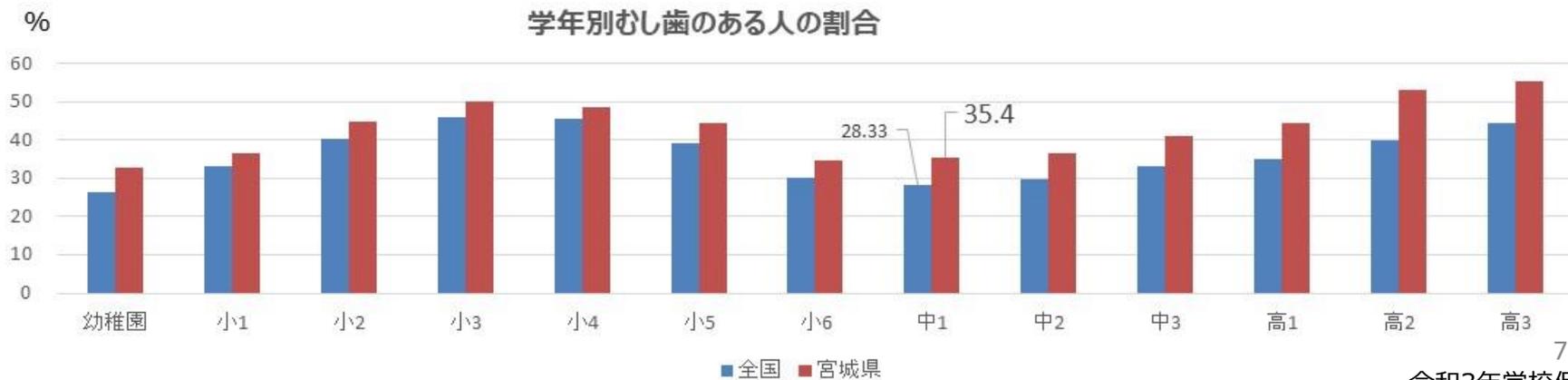
12歳児の一人平均むし歯数の推移



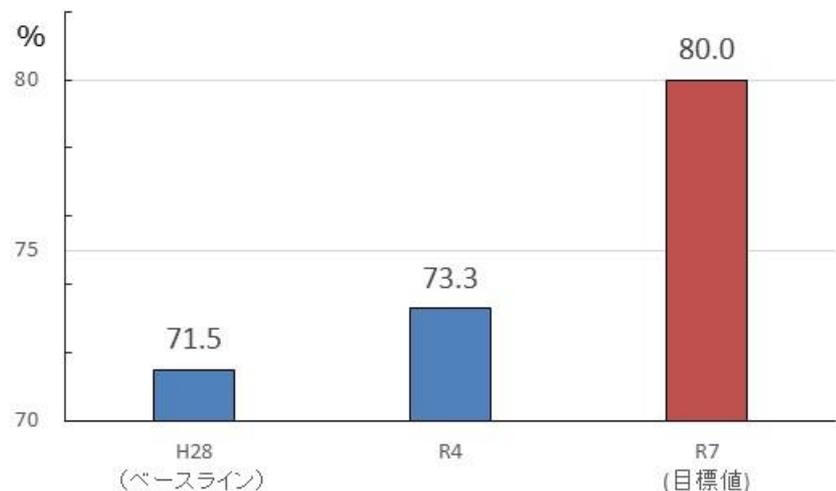
地域保健・健康増進事業報告

○ 全ての学年で全国値を上回っている。

学年別むし歯のある人の割合

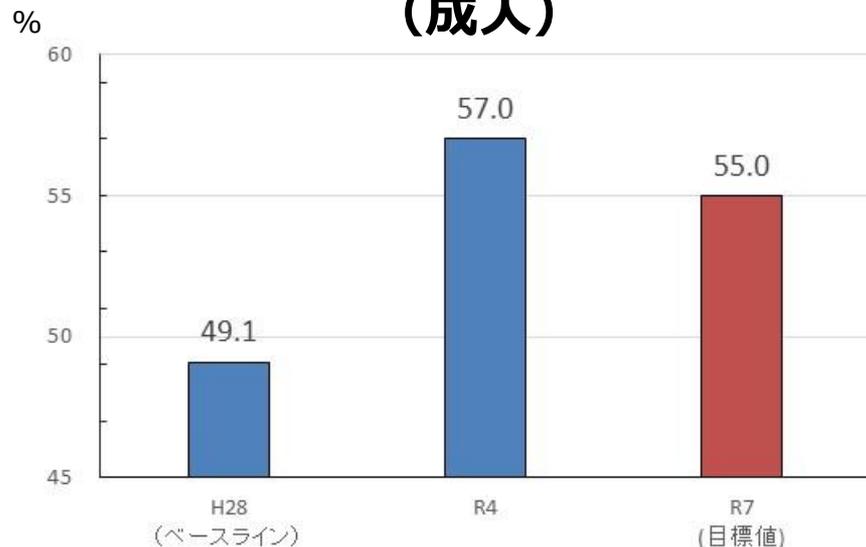


主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合（成人）



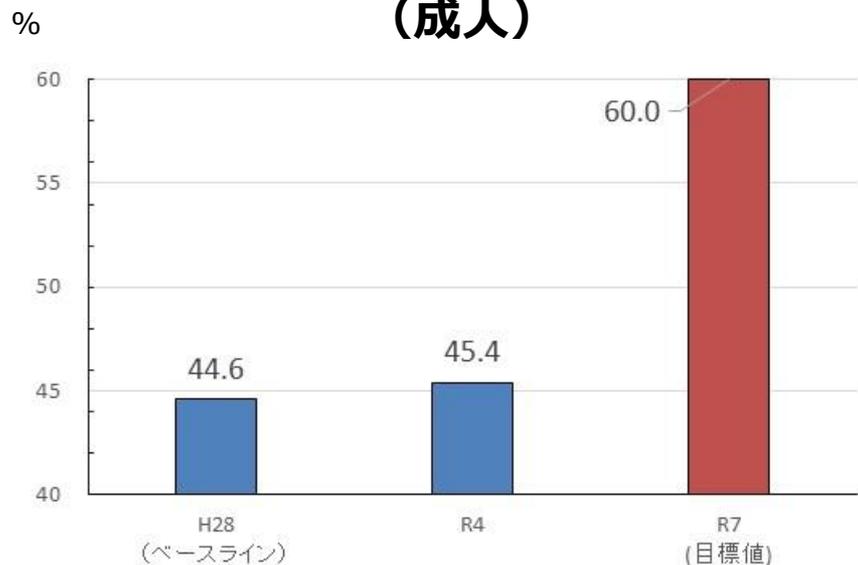
令和4年県民健康・栄養調査

ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合（成人）



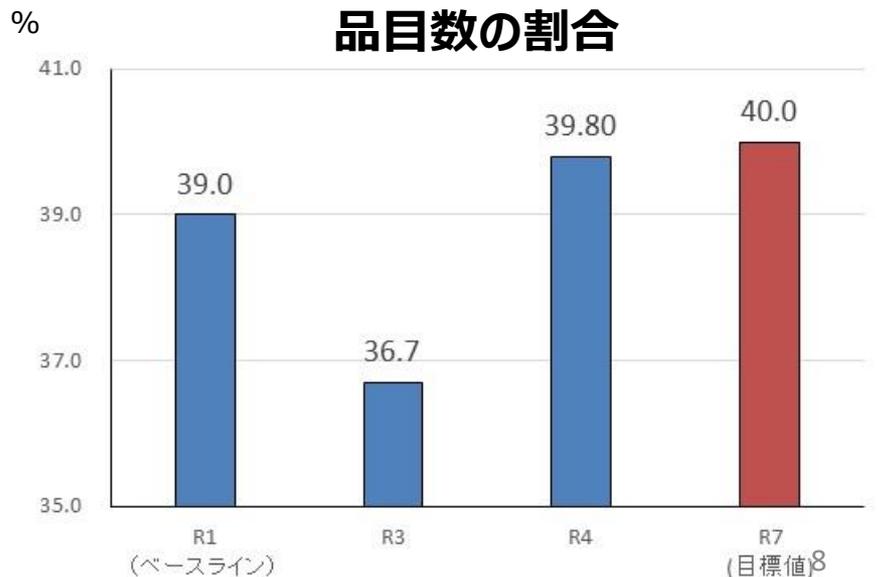
令和4年県民健康・栄養調査

栄養成分表示を参考に行っている人の割合（成人）



令和4年県民健康・栄養調査

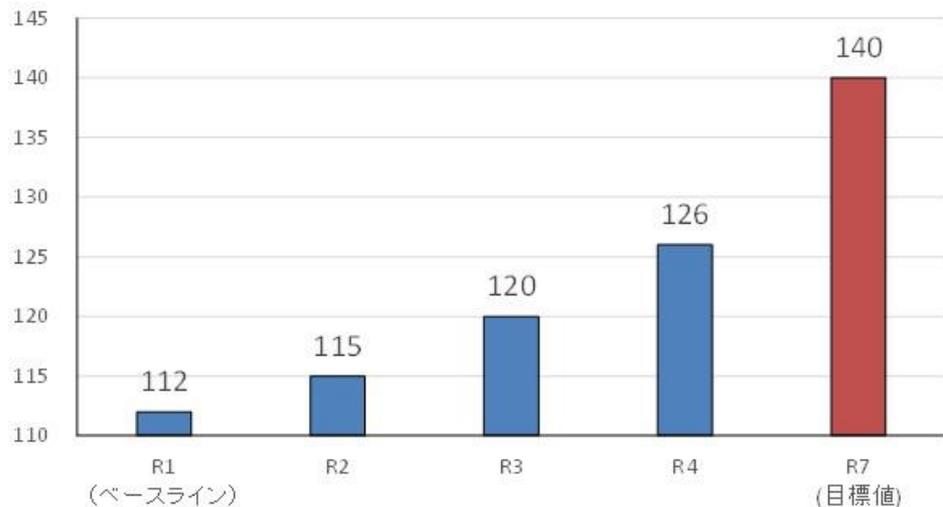
学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合



学校給食地場産品物活用状況調査

農産物直売所推定売上高

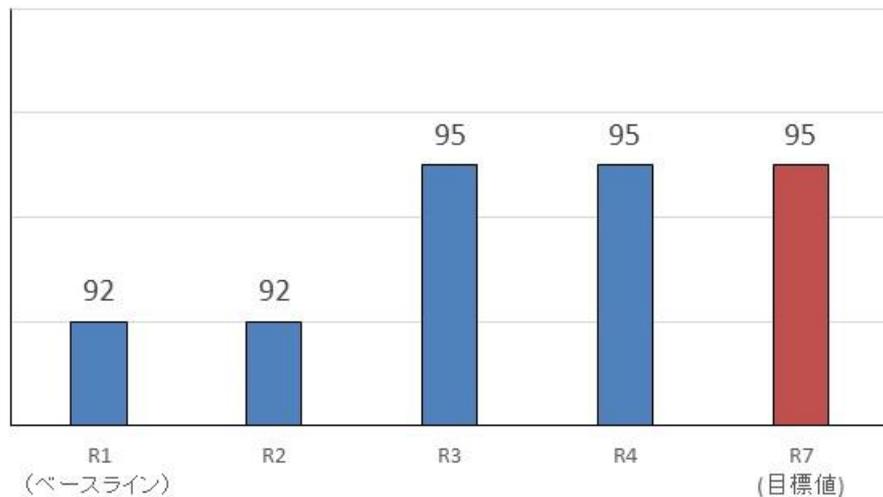
億円



農産物直売所・農山漁村交流施設等調査

宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合

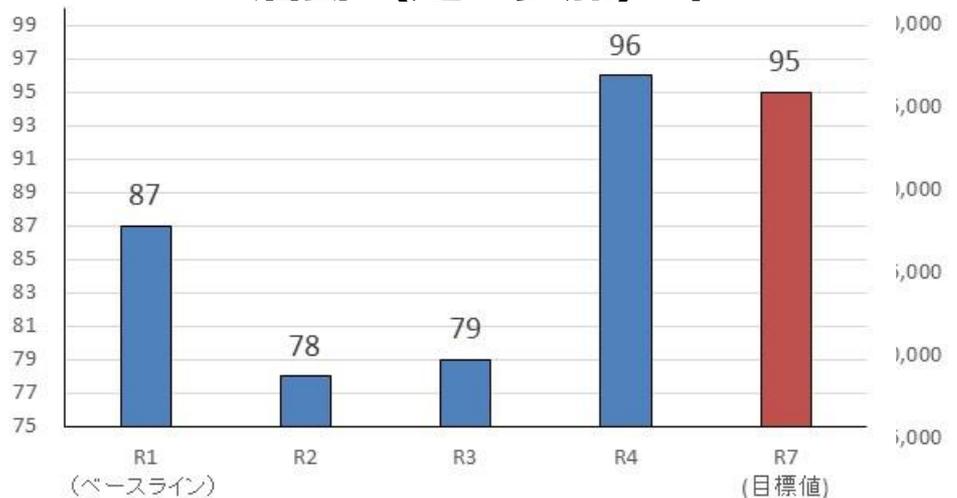
%



全国学校給食週間実施報告

みやぎ食の安全安心消費者モニターの活動（延べ参加）率

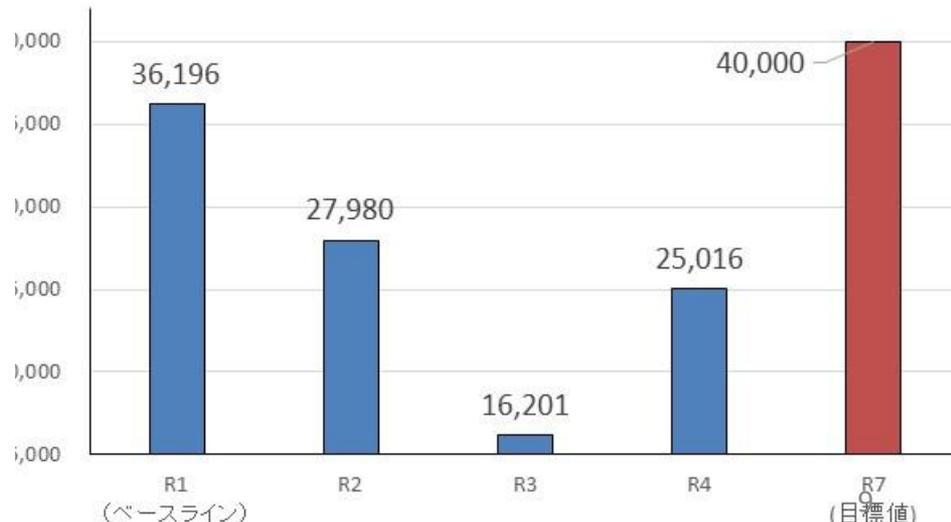
%



みやぎ食の安全安心モニター制度事業

みやぎ食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数

人



食育活動の取組状況調査